

コロナ禍に思うこと

現在第6波と言われるパンデミックはいつまで続くのでしょうか。幸いにも明生会では家族会及びB型事業所も感染者はなく現在に至っています。これもひとえに会員の方々や利用者、地域の皆様、そして職員の節度ある対応と行動の賜物と思っております。

2年余のコロナ禍の中で思うことは、人は社会の大きな“心理の力”に影響されやすいのではないかと、ということです。ウイルスに対する過度ともいえる“怖さの心理”が人から人に伝播し、マスコミやSNSを通じて拡散します。結果として「真実は何か、本当のことは何か」が良く分からなくなってきます。情報過多に価値観の多様性が輪をかけている今の状況はつくづく難しい社会と思わざるをえません。

また、ウイルス対策は人と人との繋がりを分断してしまう可能性があります。例えば“テレワーク”です。実際これは大変便利です。企業、行政、教育等の多くの分野で使われて、効果もあり有効な方法と思います。私もこんな良い方法がある・・と感心させられることしきりです。しかしながら、「この方法についていけない」と嘆く人たちが少なからずいることも事実です。パソコンやスマホの画面を通してのコミュニケーションにはリアル感がない、心が共鳴しない等々がその理由です。時代の先端と末端の差がぐんと開いてしまったように感じます。人と人が相対し表情やしぐさを感じながらの会議、打合せが懐かしく思います。ハイテクノロジーの時代には、より一層人と人との触れ合いが求められています。換言すればこれからの私たちには“ハイテク”と“触れ合い”をミックスさせたコミュニケーションの方法がより一層求められていると思う次第です。

現在、私たちはコロナ禍の状況内におります。明生会も多くの時間と機会を失いました。しかしコロナ禍は必ず収束します。その時に精神保健福祉の正しい理解を基本に人と人との触れ合いの大切にした活動を活発にしていきたいものです。

(赤池千明)



当事者会がスタートしました・・・

令和4年1月、明生会に当事者会が発足しました。当初メンバーは3人+世話人1名。小さな一歩ですが可能性は大きい集まりです。名前はまだありません。家族会との違いは、家族会は家族が主役、当事者会は当事者が主役の点です。当事者の方の参加は自由ですので、お気軽に問い合わせ下さい。3月から第3日曜日開催予定です。世話人・赤池(090-7024-1674)まで

公認心理師の晴耕雨読

当事者の方が思い通りにならない現状を親のせいにしたり、「何もできないダメな奴」と自分を責めたり、本人が望んでいる仕事は本人にはこなせないようなものなのに、そのことを自覚できず、周囲に不満をぶつかけたりすることがあります。そんな時、親としては、無力感やイライラ感を持ったり、もう少し現状に目を向けて欲しいと思ったりするかもしれません。親として感じているこの無力感やイライラ感は、実は、当事者の方が自分の現状に対し感じている思いそのものなのかも。親として、「ああ、この自分が感じている思いは本人も感じているんだ」と捉えたと、当事者に対する苛立ちが少し減るかもしれません。

親側が少し落ち着いた気分になったら、「あなたもイライラするんだね（相手の心情）、でもあなたにそう言われると私もきついの（親側の気持ち）。あなたの言う通りにはできないこともあるのよ（親からの提案）」と伝えられるかもしれません。（高柳弘行）

理事会の報告 —令和3年12月から令和4年2月—

昨年秋には第5波のコロナ禍が収束傾向に入った、と思っていると、1月から第6波が拡大という3ヶ月でした。理事会としても、一連の明生会の事業が途切れることのないように注意をはらいながら着実に計画を実行していくよう心がけてまいりました。

家族会関係ではコロナで途切れることなく活動を継続してきておりますが、1月の家族ピア学習会は中止にいたしました。また第6波のため、関係団体の研修又は大会、行政の会議等が参加制限、開催中止・延期等になり活動が少なくなりました。

B型事業所つばめ創社は施設長が交代しました。長年にわたり作業所の発展に貢献のあった高橋浩万氏が12月末に施設長を退任し、後任に岩本重幸職員が施設長に就任いたしました。また昨年から検討してきた事業の在り方についてはコロナ禍等の影響もあり令和5年度を目途に再検討することになりました。

令和4年度は明生会創立50周年になります。記念式典等はコロナ禍の状況もあって現在のところ予定しておりませんが、「50周年記念誌」を発行することによって後世に会の記録を残していく方針であります。ご理解ご協力の程宜しくお願い致します。

令和3年12月～令和4年2月末までの活動報告

12月10日（金）広報誌「つながり38号」発行。

12月12日（日）第8回理事会。武道館会議室にて。参加者、理事9名。

12月19日（日）第7回家族ピア学習会。武道館会議室にて。参加者13名。

12月21日（火）浜松市統合失調症家族教室（浜北会場、第2回）参加者、10名。担当者2名。

令和4年

1月16日（日）第9回理事会。つばめ創社食堂にて。参加者、理事8名。

1月23日（日）第8回家族ピア学習会。武道館会議室にて。参加者、13名。

1月25日（火）浜松市統合失調症家族教室（浜北会場、第3回）コロナウィルス蔓延防止のため縮小開催。

2月13日（日）第10回理事会。つばめ創社食堂にて。参加者、理事9名。

2月27日（日）西区舞阪町で多機能型施設、グループホームなどを運営しております山田創氏によるミニ講演会。
武道館会議室にて。参加者、19名。





“8050 問題”って何？と初めて耳にする方もいらっしゃると思います。病気やひきこもりの為、社会との接点が少ない当事者と高齢となった親が、将来に対して心配や不安を抱えている問題のことです。病気や認知症の高齢の親を、当事者が支えている場合もあります。誰もが避けて通れない歳を重ねるという現実。安心して暮らしていく為に私達はどんな知恵を働かせれば良いのでしょうか？

今号から家族(又、当事者)の目線で、この問題を考えていきたいと、会員の皆様からの投稿をシリーズでお届けします。皆様からの感想をどしどしお寄せ下さい。お待ちしております。



池上正樹というジャーナリストがいる。その人の「ルポ8050問題」という本によれば、「8050問題」とは、80代の親が収入のない50代の子どもの生活を支え、行き詰っている世帯のことを指す。その背景には長期高齢化しているひきこもり状態にある人たちとその家族の孤立があると定義されている。池上さんはややオーバーにその問題を取り上げ、その解決策に「生きている限りいい居場所をつくる」としている。

私は、池上さんとはほぼ同意見ながらその解決策として、①アルバイトをしてみる。②図書館へ行って幅広く読書をする。③今ある人間関係を大事にする。ことを考えている。①は、福祉作業所へ通うというのでも良いが、それでは物足りない人に勧めてみたい。市役所の2階に「浜松市ジョブサポートセンター」というのがあって、最低賃金は支払ってくれるアルバイトを紹介してくれる。私はそこで紹介してくれたコンビニのバイトを約1年間続けている。②は図書館へ行って幅広く読書をするれば、やはり不幸な結果にはならないと思うのである。池上さんの言う「居場所作り」の1歩先をめざしてみたいのである。

(会員 稲垣康弘)



明生会の家族会に、お世話になって十数年になります。息子の病気発症から今日に至り思い出す度に、家族会の方々には感謝で一杯です。何が何だか解らなかつた時に、相談員の方々にはやさしく親切に話を聞いていただき入会を決めました。少しずつ元気を取り戻して、今に続いています。現在は家族会の事務所の当番を月二回受け持ち、会員の方々とお付き合いしております。

時には落ち込んだり、悩んだりした時に話を聞いていただき、自分だけでは無いと思ひ力をもらって、とても有難く思っております。

私も八十歳を過ぎて、8050の問題は切実です。当人も親亡き後が一番の悩みです。今迄自立と生活習慣をと思ひながら、未だに出来ていません。親以外に頼れる人を作ること。良い友達が出来る事を願っています。私自身の健康に気を付けて、元気で楽しくと願う日々です。

(Y.E)

今後の活動予定

3月10日(木)～3月11日(金)甲州東海ブロック家族会。静岡大会。

3月13日(日)第11回理事会。つばめ創社食堂にて。参加者、理事。

3月27日(日)第10回家族ピア学習会。明生会事務所にて。13:00～15:00。参加費300円。

4月10日(日)第1回理事会。つばめ創社食堂にて。

4月24日(日)第1回家族ピア学習会。 ※ にて。13:00～15:00。参加費300円。

5月8日(日)第2回理事会。つばめ創社食堂にて。

5月22日(日)第2回家族ピア学習会。 ※ にて。13:00～15:00。参加費300円。

尚、新型コロナウイルス感染拡大の折りには予定が変更又は中止となる場合があります。ご了承下さい。

※会場は武道館会議室又は明生会事務所にて。詳しくはお電話ください。



「50周年記念誌」作成の経過報告

令和4年4月、明生会は創立50周年を迎えます。現在、理事会を中心に「50周年記念誌」作成の作業を進めています。内容的には、会の歴史を整理し関係の資料や写真の収集、関係する方々への原稿依頼等の作業になります。発行は6月初旬を予定しています。また、資料や写真については、平成12年に移転してきた現西浅田以降は年次ごとに整理されております。一方、開設時の葵西、米津町そして小沢渡町の活動の記録や写真が少ない状態です。そこで、会員の皆様にはお願い事項が2点あります。

一つ目は、明生会関係の古い写真や資料等を探しています。ご自宅等にお持ちの方は見せていただきたく思います。心当たりのある方は事務所までご連絡下さい。

二つ目は、折角の機会ですから自由投稿を募集いたします。400字を目途に思い出や感想等をお寄せ下さい。原稿や寄付の形での参加は大歓迎です。

家族会及びB型事業へのご寄付に御礼申し上げます。(R3.4～R4.2)

○寄付金 会員から家族会事業に 186,000円。

○物品等 会員、地域の方から家族会及びB型事業に

家具セット、アルミ缶、着物類、縫製材料、

古新聞、段ボール、雑紙、事務用品等

編集後記・今年の冬はすごく寒かったような気がします。雪が舞う日もありました。その分夏は涼しくなっ
てほしいのですがどうでしょうか。コロナ菌は寒くても暑くても関係ないようですから引き続き気を付けて過
しながら「50周年記念誌」作成に向けてお手伝いできればと思います。(鈴木智子)